総	ま	まちづくりの目標			誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評	局名	<b>逼祉局</b>	
合		政策			支え合う福祉社会の形成	担担	課(室)名	地域共	共生社会推進課
計画		F	施兌	策	地域共生社会の構築	当当	電話番号	087-	-839-2372
144			取組方針		包括的な支援体制の充実	事	業期間	令和	6年度~令和13年度
系				事務事業	ほっとかんまち高松づくり事業(高松型地域共生社会構築事業)	)			

#### 【事業全体概要】

事業概要

子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現のため、まるごと福祉相談員を配置し、地域の拠点や複合的課題を抱えた世帯等を訪問し、支援につなぐとともに、総合センター等につながる福祉相談窓口を設置し、分野別の「縦割り」を超えた相談支援を実施し、「参加支援事業」により、社会とのつながりを必要とする方への支援も行う。

「まるごと福祉相談員」による支援等 社会とのつながり回復への支援 制度の周知啓発等

重点取組事業 重点取組 市長マニフェスト 5- 関連根拠法令 ・社会福祉法

## 【事業の目的】

対象(何を)	高松市内在住の複合的課題を抱える高齢者・子ども・障がい者など支援を要する方・関係行政機関・団体 、市域の企業、NP 、自治会その他の関係者など
意図 ( どのような 状態にしたいか )	高齢者・子ども・障がい者等の分野に関わらず、多くの地域生活課題について「まるごと福祉相談員」や 地域の身近な拠点である総合センター等で福祉の相談を受け付け、支援をコーディネートすることでワンス トップサービスの向上を目指すとともに、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる活動を推進する

#### 【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標   R 8
まるごと福祉相談員の配置	人	0	0	5	5	1 1
相談対応人数(参加支援、アウトリーチ、多機関)	人	0	0	720	1,233	1 278

	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
_+	アウトリーチ(地域での情報収集・戸別訪問 等)件数	件	目標値 実績値	0	0 0	17,972 13,678	18,844	19,172
成果	成果指標の達成度(目標に対してどれ		25000					
果指標	潜在的な相談者を見つけ、つながりの形成に「 うために積極的に地域に出向いたが、目標達成した。	11		標達成度) <b>76.1%</b>	15000 10000			
		(得点) <b>27点</b>	5000 R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R 7			
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R8
_15	支援プラン策定数(参加支援、アウトリーチ 、多機関)	件	目標値 実績値	0	0 0	74 62	89	99
	成果指標の達成度(目標に対してどれ	<b>ぃだけ達成</b>	できたか)		120—— 100——			
成果指標	対象者から事業利用の同意が得られるまでにな することなどから、目標達成には至らなかった。		を要 (目	目標達成度) 80 83.8% 60 40				
			(得点) <b>29点</b>	R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7			' R 8 R 9	

		単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7( 予算 )
	トータルコスト	[千円]	77,544	126,665	67,832	75,706
	(事業費)	[円刊]	44,016	96,331	45,444	51,774
	(職員人件費)	[千円]	33,528	30,334	22,388	23,932

#### 【事業内容と事業費内訳】

_ <del>**</del> *	【学未り台と学未見り引】								
項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)			<b>事業費</b>				
	まるごと福祉相談員の配置等 参加支援事業の委託	3 1 ,1 3 5 千円 1 3 ,9 0 0 千円	糸	総額	45,444				
令和	事業周知啓発チラシの作成 消耗品購入等	266千円 143千円		国	22,721				
6	重層交付金(国費)令和4・5年度事業分返還金 重層交付金(県費)令和4・5年度事業分返還金	26,447千円	特定財源	県	11,360				
年度	<b>里僧父刊並(宗員)マ州4・3牛皮争耒刀</b> 返返並	12,900千円		市債	0				
				他	0				
			— 舟:	段財源	11,363				
	「まるごと福祉相談員」による支援等 社会とのつながり回復への支援	3 1 ,2 7 9 千円 2 0 ,1 2 8 千円	絲	忩額	51,774				
令   和	制度の周知啓発等	3 6 7 千円		国	25,887				
7			特定財源	県	12,943				
年度			財   源	市債	0				
反				他	0				
			— 舟	別別	12,944				

#### 【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

	A (80%~ 100%)		<i>₩</i> ∧ ⊢	84 / 100		¬ <i>∟</i> <u>→</u>
評価ランク	B (60%~ 79%)	Α	総合点	(84 %)	今後の方向性	<b>没善</b>
	C (0% 59%)		(平)	(04 /0)		

#### 【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

引き続き、国の「重層的支援体制整備事業」を活用し、高松型地域共生社会構築事業を実施した。

事業について、市職員や関係機関等に認識してもらい、実践していく必要があり、複合化・複雑化する課題に対する支援策や、新たな課題についての支援検討などが考えられ、関係機関等と連携しながら対応していく。

# 【今後の事業方針】 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

福祉施策の縦割りの壁を超え、包括的な形で、市民・行政・関係機関が助け合う人的ネットワークを確立して、高松型の地域共生社会を構築する。

今後も、国の動向を注視しながら、事業内容の見直しを継続して行う。

総	ま	50	<b>うくりの目標</b>	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評	局名	健康福祉局
総合	[i	政領	Ę	支え合う福祉社会の形成	価担	課(室)名	地域共生社会推進課
計	計 施策 地域共生社会		<b>地策</b>	地域共生社会の構築	当	電話番号	839-2372
画体			取組方針	地域福祉を支える環境の充実	事	業期間	令和 6年度~令和13年度
系			事務事業	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業			

#### 【事業全体概要】

社会福祉法において、社会福祉法人が実施することが責務化されている「地域における公益的な取組」について、 職員体制の脆弱性等から、単独で実施することが困難な小規模法人が、複数参画し、ネットワークを構築するととも に、各法人それぞれの強みを活かした地域貢献のための協働事業を実施するもの。 事業 概要 |複数の小規模法人等の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げに係る取組(2事業) 概要 市長マニフェスト 重点取組事業 関連根拠法令 同事業実施要綱

# 【事業の目的】

対象(何を)	小規模法人(1の法人において1の施設又は事業所のみを運営しているような法人)
意図 ( どのような 状態にしたいか )	小規模な法人を含め、地域の様々な福祉サービス提供機関が連携し、地域貢献のための取組が促進されるよう、その環境整備を図ることを通じて、地域における福祉サービスの充実とともに、重層的な支援体制の構築を図る。

# 【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
参画小規模法人数	法人	0	0	51	58	58

_		214 1-20014 2							
		成果指標名 (どのような成果が得られたか)	れたか) 単位 種別 R4		R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		ネットワークにおいて実施した事業数	件	目標値 実績値	0	0 0	2 2	2	2
4	成 果	成果指標の達成度(目標に対してどれ	れだけ達成	できたか)		2.5			
;		災害時において福祉避難所が円滑に機能する。 等で構成するネットワークを構築し、福祉避難 方などを整理・検討するなど、体制整備の支援を	標達成度)	1.5— 1—					
		、社会福祉法人等の施設・事業所職員を対象と 護人材のスキルアップ等を図るための合同研修?	(得点) <b>35点</b>	0.5 0 R 2	2 R 3 R 4 R	5 R 6 R	7 R 8 R 9		
		成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R8
				目標値 実績値					
	成果指	成果指標の達成度(目標に対してどれ		1					
3	指標			( ₺	]標達成度)				
					(得点)	0			
						K	2 R 3 R 4 R	эквк	7 R 8 R 9

		単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7( 予算 )
	トータルコスト	[千円]	9,871	14,022	14,176	14,176
	(事業費)	[千円]	8,000	8,000	8,000	8,000
	(職員人件費)	[千円]	1,871	6,022	6,176	6,176

#### 【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費			
	協定福祉避難所体制整備支援事業 職員のスキルアップ等のための合同研修会	委託料 8,000千円 (4,000千円×2事業)	糸	総額	8,000	
令 和		( , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		国	8,000	
6			 	県	0	
年度			財  源	市債	0	
区				他	0	
			一角	段財源	0	
	複数の小規模法人等の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げに係る取組(2事業)	委託料 8,000千円 (4,000千円×2事業)	糸	総額	8,000	
令 和				国	8,000	
7			特定財源	県	0	
· 年 度			財   源	市債	0	
反				他	0	
			一舟	段財源	0	

#### 【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
 妥 当 性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80% 100%)	۸	総合点	96 / 100	   今後の方向性	   継続
計画ノフク	B (60%~ 79%) C ( 0%~ 59%)	A	(率)	(96 %)	ラ後の万円注	(1)

# 【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

災害時に協定福祉避難所が円滑に機能するよう、役割や在り方を整理・検討した上で、実地訓練を行うなど、体制整備の支援を行った。

また、社会福祉法人等の施設・事業所職員を対象として、福祉・介護人材のスキルアップ等を図るための合同研修会等を行った。今後においても、地域における福祉サービスを充実させるため、小規模法人等の連携を推進する。

# 【今後の事業方針】 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

社会環境等の変化により、地域の福祉ニーズが多様化する中、今後の福祉サービスのさらなる充実を図るため、引き続き、複数の小規模法人等が連携し、参画するネットワークの構築を支援する。

絵	ま	ち:	づくり	の目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評	局名	健康福	<b>晶祉局</b>
総合		政:	策		支え合う福祉社会の形成	価担	課(室)名	地域共	共生社会推進課
計		[	施策		地域共生社会の構築	当	電話番号	087-	839-2372
画体			取組	1方針	地域福祉を支える環境の充実	事	業期間	令和	6年度~令和13年度
系			事	務事業	共助の基盤づくり事業				

#### 【事業全体概要】

重層的支援体制整備事業の柱となる「共助の基盤づくり事業」として、地域サービスの担い手を確保し、インフォーマル活動の活性化を図る事業を実施する。地域サービスの担い手により運営できる世代や属性にとらわれない、新た事業 な地域の交流・集いの場を創出する。

概要

地区社会福祉協議会が主体となり、多方面のボランティアが、交流・イベント・会食等の様々な活動を行う、共助の 基盤づくり事業を各地区で実施する。また、地域のボランティア活動を発展させるため、高松市社会福祉協議会に地 域の担い手養成業務を委託する。

重点取組事業 重点取組 市長マニフェスト 5- 関連根拠法令 重層的支援体制整備事業交付金交付要綱

#### 【事業の目的】

対象(何を)	地域ボランティア等と地域の住民
意図(どのような 状態にしたいか)	地域サービスを支える基盤となる組織を育成する観点から、地域づくりや地域サービスに欠かせない、地域 ボランティアの確保・育成支援に取り組むことにより、福祉の向上や地域住民の支え合いによる、共助の基 盤づくりに努める。

#### 【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
事業実施回数	回	0	0	252	240	245

	, eta :- 1 Well =							
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	共助の基盤づくり事業実施箇所数	箇所	目標値	0	0	34	35	36
_ <del>tt</del>		<u> </u>	実績値	Ü	U	35		
成果	成果指標の達成度(目標に対してどれ	<b>れだけ達成</b>	できたか)		40			-
果指標	活動実施箇所が増加し、目標を達成できた。		(目	標達成度)	30		_/_	
125			I -	102.9%	20			
					10			
				(得点)	19		/	
				35点	0 R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R	7 R 8 R 9
	<b>プロ北州</b> 石				1 2	INONTR		
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれ	<b>れだけ達成</b>	できたか)		1			
指煙			( 🗏	標達成度)				
小示				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
				(得点)		1 1 1	1 1	, ,
					R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R	7 R 8 R 9

		単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7( 予算 )
	トータルコスト	[千円]	14,047	15,949	10,817	13,491
	(事業費)	[千円]	4,318	6,164	6,725	9,399
	(職員人件費)	[千円]	9,729	9,785	4,092	4,092

### 【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠 (予算の増減		事業費			
	地区社会福祉協議会が主体となり、多方面のボランティア   が、交流・イベント・会食等の様々な活動を行う、共助の		794千円	糸	<b></b>	6,725	
令和	基盤づくり事業を各地区で実施する。また、地域のボラン ティア活動を発展させるため、高松市社会福祉協議会に地	5,	931千円0千円		国	3,362	
6	域の担い手養成業務を委託する。	<b>派</b> 莫	0 113	特定財源	県	0	
年度				財   源	市債	0	
100					他	0	
				— 舟:	段財源	3,363	
	│地区社会福祉協議会が主体となり、多方面のボランティア │が、交流・イベント・会食等の様々な活動を行う、共助の		7 9 5 千円	糸	<b></b>	9,399	
令和	基盤づくり事業を各地区で実施する。また、地域のボラン ティア活動を発展させるため、高松市社会福祉協議会に地	8 ,	6 0 0 千円 4 千円		国	4,699	
7	域の担い手養成業務を委託する。	MSZ.	. , , , ,	特定財源	県	0	
年度				財   源	市債	0	
反					他	0	
				—舟	段財源	4,700	

#### 【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結 び付くか。	5	結びつく
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
<u>华</u> 性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

	A (80%~ 100%)	_	/// A L	98 / 100		Adole A.—
評価ランク	B (60%~ 79%)	A	総合点 (率)	(98%)	今後の方向性	継続
	C (0% 59%)		(学)	(90 %)		ne roo

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 地域に応じた事業を円滑に進められるよう、高松市社会福祉協議会と連携を図りながら指導・助言を行うことにより、地域におけるボ ランティア活動の継続・活性化を図る。

# 【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

各実施団体の活動内容等を情報共有することにより、幅広い活動につなげられるよう検討する。

総	ま	まちづくりの目標			誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評	局名	司名 健康福祉局		
総合		政策			支え合う福祉社会の形成	価担	課室名	地域	共生社会推進課	
計		F	施	策	地域共生社会の構築	当当	電話番号	087-	-839-2372	
画体系			Γ	取組方針	地域福祉を支える環境の充実	事	業期間	令和	6年度~令和13年度	
糸				事務事業	社会福祉団体活動助成事業					

#### 【事業全体概要】

高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体に対し、行政では対応し難い福祉需要への多様な取組に対し、社会福祉法に基づく財政支援を行い、地域福祉の推進を図る。

事業 概要

社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体(3団体)の事業に対し、補助金を交付する とともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。

在度 概要

重点取組事業 市長マニフェスト 関連根拠法令 社会福祉法、高松市社会福祉法人助成条例、

#### 【事業の目的】

対象(何を) 高松市民

意図 ( どのような 状態にしたいか ) 地域住民の日常生活上の諸問題の解消、軽減を図る。

#### 【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
補助金交付団体数	団体	0	0	4	4	4

	P未♥/以木 <b>』</b>							
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	法人成年後見事業受任件数	件	目標値 実績値	0	0	59 50	64	69
成果	成果指標の達成度(目標に対してどれ	<u>;                                    </u>	0 <u>;</u> 80	59				
成果指標	令和6年度は目標値を達成できた。		(目	標達成度)	60			
				100.0%	40		7	
				(得点)	20			
				35点	R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R 7	' R 8 R 9
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
成			実績値	İ		<u>i</u> _		
果	成果指標の達成度(目標に対してどれ	こだけ達成	できたか)		1			
成果指標			( ■	]標達成度)				
				(得点)				
					0 R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R 7	R 8 R 9

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	130,906	132,492	130,413	125,641
(事業費)	[千円]	127,164	127,976	125,781	121,009
(職員人件費)	[千円]	3,742	4,516	4,632	4,632

### 【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)		Ę	事業費	
	社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社 会福祉諸団体(3団体)の事業に対し、補助金を交付する		糸	総額	125,781	
令和	とともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。	1 1 2 , 7 8 7 千円 社会福祉諸団体事業補助金		国	0	
6		4 , 4 9 4 千円 高松市たすけ合い金庫資金貸	特定財源	県	0	
年度		付金		市債	0	
100		8,500千円		他	8,500	
			—舟	段財源	117,281	
	│社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社 │会福祉諸団体(3団体)の事業に対し、補助金を交付する		糸	<b></b>	121,009	
令和	とともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。	108,015千円 社会福祉諸団体事業補助金	特定財源	国	0	
7		4,494千円 高松市たすけ合い金庫資金貸		県	0	
年度		付金		市債	0	
反		8,500千円		他	8,500	
			—舟	段財源	112,509	

#### 【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

	A (80%~ 100%)		/// <b>-</b>	96 / 100		/.bl/ / <del></del> -
評価ランク	B (60%~ 79%)	Α	総合点(率)	(96%)	今後の方向性	継続
	C (0% 59%)		(辛)	(90 70)		W= 1/90

#### 【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

地域福祉推進のための事業を実施する高松市社会福祉協議会に対して補助金を交付することにより、地域福祉活動の充実に寄与した

また、社会福祉団体に補助金を交付することにより、地域福祉を支える基盤づくりに寄与した。

# 【今後の事業方針】 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

厳しい財政事情を踏まえ、補助金の削減について各団体と検討していく。高松市社会福祉協議会については、平成30年度から経営 赤字に対する人件費の強化分を増額していた。令和2年度には補助金の支出方策自体について見直しを行い、見直し点については「市 社協全体の収支について赤字補てんするのではなく、総務・地域福祉部門の補助割合を見直し、今後、一定割合での補助を行うことと した。ただし、この定率補助については、令和6年度までの4年間とし、その後については、経営状況等を勘案し、再度判断するもの 」としており、7年度予算はマイナスシーリング方針により所要経費の95%に抑制した。

## 令和 本度( 6年度決算分) 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

絵	ま	5	ゔ゙゙゙゙゙	くりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評	局名	健康福祉局
総合		政	策		支え合う福祉社会の形成	価担	課室治	地域共生社会推進課
計画		ſ	施	策	地域共生社会の構築	当当	電話番号	087-839-2372
画体			ſ	取組方針	地域福祉を支える環境の充実	事	業期間	令和 6年度~令和13年度
系				事務事業	災害援護事業			

#### 【事業全体概要】

災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して災害情報の提供や避難等の 手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業

# 事業 概要

概要

災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難 等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業 災害発生時に必要となる要配慮者のための段ボールベッド等の備品整備事業

重点取組事業 市長マニフェスト 関連根拠法令 災害対策基本法

#### 【事業の目的】

要介護認定3~5の人など災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などの避難行動要 対象(何を) 支援者。 災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の人など(避難行動要支援者)に対して、災害情 意図(どのような状態にしたいか) 報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを推進する。

#### 【事業の活動】

l	活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標
	避難行動要支援者名簿登録者数	人	0	0	7,072	7,500	1 ' 1
	個別避難計画作成者数	人	0	0	4,684	5,600	

	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	個別避難計画作成率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	70 66.2	75	80
风	成果指標の達成度(目標に対してどれ		100					
成果指標	地区コミュニティ協議会等の地域支援組織と 成率の向上に努めた結果、概ね目標を達成する。		t-   H	標達成度) 94.6%	80 60 40			
		(得点) <b>33点</b>	20 0 R 2	2 R 3 R 4 R	5 R 6 R	7 R 8 R 9		
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成	成果指標の達成度(目標に対してどれ	1	<u> </u>					
成果指標			(目	標達成度)				
				(得点)	D R 2	2 R 3 R 4 R	5 R 6 R	7 R 8 R 9

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	17,533	16,040	23,600	40,349
(事業費)	[千円]	3,313	3,244	8,932	25,681
(職員人件費)	[千円]	14,220	12,796	14,668	14,668

### 【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)		Ę	事業費
	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい 者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難	援護資金貸付金 9千円 小規模災害援護費	幺	<b>総額</b>	8,932
令和	等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくり の推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業	6 1 0 千円 避難行動要支援者名簿整備費		国	0
	災害発生時に必要となる要配慮者のための段ボールベ ッド等の備品整備事業 遺	3 , 1 3 1 千円 避難支援者に対する保険加入	特定財源	県	799
6 年 度		費 775千円		市債	0
IQ.		段ボールベッド等の備品整備  費 4,407千円		他	0
			—舟	段財源	8,133
	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい 者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難	接護資金貸付金 1,513千円	糸	総額	25,681
令和	等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくり の推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業	小規模災害援護費 570千円		国	0
7	災害発生時に必要となる要配慮者のための段ボールベッド等の備品整備事業 過	避難行動要支援者名簿整備費 4 , 6 2 7 千円	 	県	1,112
年度		避難支援者に対する保険加入	財源	市債	1,500
反		費 971千円 段ボールベッド等の備品整備		他	0
		費 18,000千円	— 舟	段財源	23,069

#### 【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
 妥 当 性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80% 100%) B (60% 79%) C (0% 59%)	Α	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
-------	-------------------------------------	---	------------	--------------------	--------	----

#### 【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

6年度は新規対象者に送付する調査票の印刷・発送業務を委託予定であった業者がサイバー攻撃を受け、委託を中止したことから、送付対象を一部に縮小して調査票送付を行ったため、計画策定業務が予定どおり実施できなかった。今後、作成率の一層の向上を目指して取り組む。なお、個別避難計画に記載の「避難支援者」が避難支援中にけがをした場合等に備え、6年度に新たに市が損害保険に加入し、広報等で保険加入や請求方法等について市民に周知した。

# 【今後の事業方針】 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

引き続き地域コミュニティ協議会など、地域支援組織と連携しながら、避難行動要支援者名簿の情報更新と併せて、個別避難計画策 定に向けての取り組みを強化していきたい。

# 令和 本度( 6年度決算分) 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

絵	ま	5:	ゔ゙゙゙゙゙	くりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評	局名	健康福祉局
総合		政:	策		支え合う福祉社会の形成	価担	課室治	地域共生社会推進課
計画		F	施	策	地域共生社会の構築	当	電話番号	087-839-2372
画体			[	取組方針	地域福祉を支える環境の充実	事	業期間	令和 6年度~令和13年度
系				事務事業	若者育成支援推進事業			

#### 【事業全体概要】

社会生活を円滑に営む上での困難を有する若者を支援するため、高松市若者支援協議会を設置し、協議会を構成する関係機関の情報交換を行うとともに、相互に協力・連携することで、若者それぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築する。 概要

協議会の開催

在度 概要 代表者会議 1回/年 実務者会議 1回/年

重点取組事業 市長マニフェスト 関連根拠法令 子ども・若者育成支援推進法

# 【事業の目的】

対象(何を)	社会生活を円滑に営む上で、ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する、おおむね15歳以上40歳未 満の若者及びその家族
意図(どのような 状態にしたいか)	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者が、健やかに成長し、持てる能力を生かし自立・活躍することができるようにする。

#### 【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R8
協議会等の開催回数	回	0	0	1	2	2

		成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	J	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	_	協議会の構成団体数	団体 目標値 0: 実績値 0:			(	0 <u>24</u> 0 24		24	
月月	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 指 高松市若者支援協議会代表者・実務者全体会議において、6 (目標達成度)						30— 25—			
才	旨票	高松市若者支援協議会代表者・実務者全体会認 つの分野の24団体に関係機関として協議会に 若者支援に係るネットワークを強化した。				標達成度)	20 15 10			
					(	得点) <b>35点</b>	5 0 R	2 R 3 R 4 I	R 5 R 6 R	7 R 8 R 9
		成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	IJ	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
				目標 <sup>·</sup> 実績 <sup>·</sup>						
F. 与.	<b>龙果旨</b>	成果指標の達成度(目標に対してどれ	1だけ達成	できたが	( יל		1			
才	音票				(目	標達成度)				
					(	(得点)				, ,
							0 R	2 R 3 R 4 I	R 5 R 6 R	7 R 8 R 9

		単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7( 予算 )
	トータルコスト	[千円]	10,084	11,074	4,794	11,014
	(事業費)	[千円]	280	85	85	129
	(職員人件費)	[千円]	9,804	10,989	4,709	10,885

#### 【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)			事業費		
	協議会の開催 代表者・実務者全体会議 1回/年	会議開催経費 報償金	8 5 千円	幺	<b></b>	85	
令和	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				国	0	
6				特定財源	県	0	
年度				財源	市債	0	
					他	0	
				— 舟:	段財源	85	
	協議会の開催 代表者会議 1回/年	会議開催経費 報償金	1 2 9 千円	糸	<b></b>	129	
令和	実務者会議 1回/年				国	0	
7				特定財源	県	0	
年度				財   源	市債	0	
反					他	0	
				一舟	段財源	129	

#### 【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80% 100%) B (60% 79%) C ( 0% 59%)	Α	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
-------	--------------------------------------	---	---------	--------------------	--------	----

#### 【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

協議会の協議対象者を「中学・高校・大学の新卒者、中退者で、所属を失い支援が途切れた、社会生活上の困難を有する者」とし、 それらの者がひきこもり状態になる前、若しくは、ひきこもり状態になった後の早期の支援について協議することとした。

# 【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

困難を有する若者とその家族のニーズを把握するとともに、特にひきこもり支援を中心に、支援機関の意見等も聴きながら、より効果的な支援施策を検討していく。

総合	ま	5:	づくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評	局名	健康福祉局
		政	策	支え合う福祉社会の形成	価担	課(室)名	地域共生社会推進課
計		Ţ,	施策	高齢者福祉の充実	当	電話番号	087-839-2372
画体			取組方針	生活支援サービスの充実と社会参加の促進	事	業期間	令和 6年度~令和13年度
系			事務事業	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業			

#### 【事業全体概要】

事業 概要 支援が必要な高齢者のニーズに対応するため、国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす「生活支援コーディネーター」の設置やコーディネーターとサービス提供主体が参画する「協議体」での情報共有・連携強化等を通じて、多様な主体による様々なサービスの提供体制を構築する。 また、市民等への周知・広報を行う。

概要

協議体開催(2回)

第2層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)配置

市民等への周知・広報

重点取組事業

市長マニフェスト

関連根拠法令 介護保険法

#### 【事業の目的】

対象(何を)	高松市内在住高齢者
意図 ( どのような 状態にしたいか )	多様な主体による様々なサービスが提供される体制を構築し、高齢者が、介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域社会で安心して安全に暮らすことができるようにする。

# 【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
地域福祉ネットワーク会議開催回数	回	0	0	200	260	

	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
_15	住民主体によるサービスを提供している地区 数	地区	目標値 実績値	C	0	32 28		40
	成							
指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 指標 住民主体によるサービスの提供は、平成28年10月から実施し、令和6年度には合計で28地区(訪問26地区、通所6地区)で実施されている。 (目標達成度) 87.5%				40 30 20			
	(得点) <b>31点</b>				10 R 2 R 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8 R 9			
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値実績値					
成果指標					1—			
指  標			(	目標達成度)				
				(得点)	0 R 2	2 R 3 R 4 F	R 5 R 6 R	7 R 8 R 9

		単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7( 予算 )
	トータルコスト	[円刊]	67,925	68,305	68,115	68,562
	(事業費)	[円刊]	56,998	57,316	58,774	59,221
	(職員人件費)	[千円]	10,927	10,989	9,341	9,341

#### 【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)		Ę	事業費
	協議体開催(1回) 第2層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員	報償費 134千F 委託料等	3 4	総額	58,774
令 和	)配置 市民等への周知・広報	58,640千		国	21,500
6			特定財源	県	10,749
年度			財	市債	0
反				他	13,517
			— <u>f</u>	设財源	13,008
	協議体開催(2回) 第2層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員	報償費 220千F 委託料等	} !	総額	59,221
令和	)配置 市民等への周知・広報	59,001千月	·	国	22,799
7	ID DOG VOOTESTA DATK		特定   財源	県	11,399
· 年 度			財	市債	0
				他	13,620
			<u> </u>	设財源	11,403

#### 【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準			
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく		
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている		
有如	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい		
有 効 性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい		
	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい		
性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい		

評価ランク	A (80% 100%) B (60% 79%) C ( 0% 59%)	Α	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	   今後の方向性 	継続
-------	--------------------------------------	---	------------	--------------------	------------------	----

#### 【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

地域における住民主体サービスの提供者が高齢化することに伴い、担い手の養成・発掘が必要となっており、また、地域課題の解決に向けた検討とサービスの提供は、これからという地域も多く、地域に寄り添った運営支援を行っていく。

# 【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

多様な主体により提供されるサービスの提供事業者が不足していることから、その参入の促進策を検討する。

また、多様な主体により提供されるサービスの利用促進を図るとともに、住民主体サービスの提供団体を増やし、地域で高齢者を支える体制づくりを促進する。